地域での活動

町会活動

8月26日（土）、町会主催の体験教室として「バルーンアート作り体験」を開催しました。

「**子供達にとって、夏休みの思い出になれば**」との想いで開催し、10人以上の親子に参加いただきました。

その他、町会活動として、

- 警察による犯罪抑止等広報啓発活動（7月21日（金））
- 夏休みラジオ体操（7月29日（土）～8月4日（金））
- 祭礼・子供山車巡行（9月10日（日））

等にも、町会役員として参加しました。

「バルーンアート作り体験」に参加してくれた親子を「子供山車巡行」でも見かけてお話する等、**“顔の見える関係”**づくりにつながっていることも実感しました。

“地縁組織”である町会・自治会は、防災・防犯や地域のにぎわいづくり等において、**“互助・共助”の基盤**となります。

地域で生活する一人として参画し、その中から見えてきた課題等を区政に反映していきたいと思います。

敬老会

9月18日（月・祝）及び10月7日（土）、区内の「ゆうゆう館」にて開催された敬老会に参加しました。

9月18日は「輪投げ体験会」に参加させていただき、10月7日は、

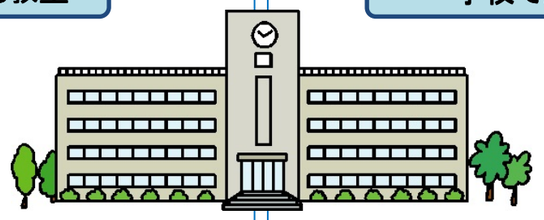
- 小学校PTA等による合奏・合唱
- 中学校吹奏楽部による演奏
- 子供達によるダンス

を、参加者とともに楽しみました。

「ゆうゆう館」は、主に60歳以上の方が利用する施設ですが、敬老会イベント等で、**“同世代の横のつながり”**だけでなく、**“異世代の縦のつながり”**を紡いでいくことも大切だと改めて実感しました。

こうした機会にも積極的に関わり、区政を考える際にも活かしていきたいと思います。

放課後子ども教室



10月5日（木）、小学校放課後子ども教室担当者研修会「**多様な個性のある子どもたちとの関わり方　～不登校・発達課題を持つ児童・生徒との関係作り～**」に参加しました（於：区役所。18時～20時）。

区立小学校には、様々な子供達が通っています。日常的に放課後子ども教室で接していますが、参加する**子供達の「居場所」**となり、また、様々な**体験活動の場**となるよう、研修等で自身の日頃の対応も振り返り、**杉並区の子育て環境の向上**に取り組んでいきたいと思います。

学校で遊ぼう会

9月30日（土）、小学校PTA親児の会主催の「学校で遊ぼう会」に、**コロナ禍前まで「学校に泊まろう会」で活動**していたPTA・OBとして参加しました。

コロナ禍の3年間、PTA主催で開催していた行事も中止を余儀なくされました。旧来行っていた行事を形を変えて再開するとのことから、現場での留意点の伝達も兼ねて、参加しました。

子供達の貴重な体験機会を創出するこうした活動には、積極的に関わっていきたいと思います。

次回の定例区議会（令和5年第4回定例会）は、11月15日（水）開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX：03-3247-8660　もしくは　E-Mail：ikuma@gakushikai. jp

杉並区議会議員（無所属）

岩田いくま　区政報告

第80号（令和5年秋号）

発行：岩田いくま　〒168-0082　杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX；03-3247-8660　E-Mail；ikuma@gakushikai.jp
HP；http://ikuma-iwata.net　（←毎日更新しています！）

岩田いくま（生真）略歴：昭和46年（1971年）生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和5年5月より6期目。
趣味：バレーボール（大学時代は母校で部活動のコーチを行う）、読書。
家族：妻、長男（20歳）、長女（18歳）、次男（15歳）。

P.1　令和4年度杉並区決算について
P.2　決算特別委員会での質疑について
P.3　区立学校給食費無償化について
　　調査活動について
P.4　地域での活動について

区政運営の適切性に疑問あり

～　令和4年度杉並区決算を考える　～

令和4年度杉並区一般会計決算が、10月16日（月）の区議会において、賛成多数で認定されました。

私は、財政面は概ね評価できると受け止めましたが、業務執行面では議会軽視や不適切な事業執行等が見られたことから、**反対**いたしました。

区長部局	幼児教育の無償化に係る国庫及び都支出金の返納金（約2億円）について、必要な額を予算計上せず ↓ 一般会計補正予算（第10号）を、議会の議決を得ることなく、**専決処分(*1)で対応** (*1) 議会が議決すべき事項を、区長が議決を得ないで処分すること。	不適切な事業執行 議会軽視
	「指定管理者制度の検証」に関し、一般会計補正予算（第7号）に対して、「**有識者の人選**やアンケート項目の作成に関して**公平公正中立**な予算執行を行うこと」という**付帯決議(*2)を議員提案で可決**（令和4年12月） (*2)可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べたもの。 ↓ それにも関わらず、指定管理者制度の検証における有識者意見聴取（令和5年3月～）2名のうち1名は、令和4年7月（現区長が区長に就任した月）に、区長と80分、区長応接室にて面会した学者	議会軽視
選挙管理委員会	今春の区議会議員選挙において、投票マッチング事業（いわゆる**ボートマッチ(*3)）を企画** (*3) 有権者が、インターネット上で選択式のアンケートに答えると、その回答に考え方が近い政党や候補者が測定されるサービス。 ↓ 立候補予定者説明会直前（令和5年2月）に、総務省から「選挙管理委員会が当該事業を実施することは選挙運動と認められる恐れがあること」「選挙後の争訴において選挙無効と判断されるおそれがあること」を指摘され、**中止**	不適切な事業執行

独善的とも指摘されていた前区長ですら、コロナ対応で度重なる補正予算を編成する際、専決処分したことはありません。また、施策指標の目標達成度も満足できるものではなく（P.2参照）、監査委員の定期監査においても**注意事項は過去5年で最多**となりました（P.2参照）。**区長交替に伴う負の側面が目立つ**ため、議会の一員としてしっかりチェックしていきたいと思います。

決算特別委員会での質疑

10月2日（月）～10月13日（金）、決算特別委員会が開催され、10月2日（月）、5日（木）、6日（金）に質問者として登壇しました。以下、抜粋して取り上げます。

＊決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映（右記QRコード）でご覧いただけます。

【質問でとりあげたテーマ】

2日	**総合計画の施策指標達成度**
	区政経営改革
	中央進行管理事業
5日	**監査（定期監査・行政監査）**
	内部統制
	会議コスト
6日	特別会計
	障害者緊急時対応計画
	生活困窮者等自立促進支援
	コロナ対応
	共生社会しかけ隊

【総合計画の施策指標達成度】

【質問の背景】

これまでも、決算審査にあたっては、「**目標達成度**」に着目してきました。令和4年度は新たな総合計画初年度であり、その状況に注目しておりましたが、残念ながら**目標を達成した指標の割合は40%弱**にとどまりました。

目標と実績が比較可能な指標86のうち、目標を達成した指標は33にとどまりました。また、**全29の施策のうち、指標がすべて未達の施策も6にのぼります**。質疑では、「結果は大変厳しく受け止めている」「事業の改善を行って目標達成に向け努力していきたい」旨の答弁を得ております。

【監査】（定期監査・行政監査）

【質問の背景】

令和4年度の監査委員による定期監査では、指摘事項が3項目4件と過去5年で2番目に多く、**注意事項は20項目35件と過去5年で最多**となってしまいました。また、行政監査「庶務事務システムの運用、管理について」では、**「速やかに改善が必要と思われるもの」との指摘が多数**ありました。

区政においては、「区立学校給食費無償化（P.3参照）」等の“耳目を引く”政策が注目をされがちですが、**日々の着実な区政運営こそが、安全・安心で住み良い杉並区としていくうえで、大切**なことだと考えます。質疑では、「危機感を持っており、内部統制をより実効性のあるものにしていかねばならない」旨の答弁を得ております。

【共生社会しかけ隊】

【質問の背景】

令和4年度予算（案）審査の際にも、「共生社会しかけ隊(*4)」の取組について質疑を行いました。

決算審査にあたって、令和4年度及び今後の取組について、確認を行いました。

(*4)障害のある人や支援者が、地域で関わる様々な場所に出向き、出向いた場所のスタッフ（職員）とともに、一緒に話し合い、それぞれが感じている困りごとを共に工夫して解決するという取り組み。

令和4年度はスポーツ施設6所に出向き、その取組が「**解決ヒント集（スポーツ施設編）**」としてまとめられております（下記QRコードから読むことができます）。

それぞれの方にとって、様々な気づきが得られると思いますので、是非ご一読ください。なお、令和5年度は前記スポーツ施設6所＋区民センター7所で実施する旨の答弁を得ております。

区立学校給食費無償化について考える

9月26日（火）、区立学校における学校給食費無償化（令和5年10月～令和6年3月。総額9億4，449万円）を含んだ令和5年度一般会計補正予算（第4号）が可決されました。

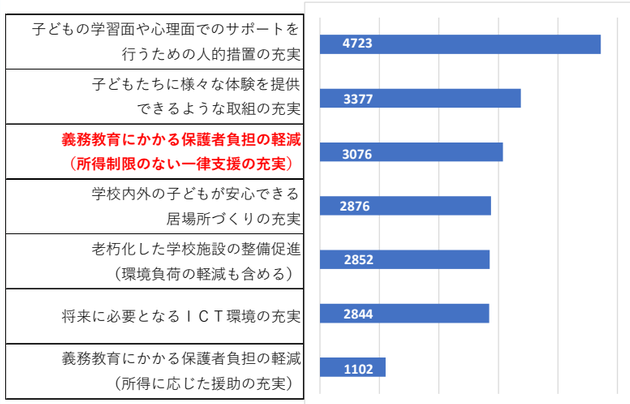
私は、「子育てを地域全体で支えていく」という理念には共感しますが、**主に下記理由から反対**しました。

- 保護者アンケート結果（下記左欄参照）に示された**優先順位**と明らかに異なること。
- 会派独自で実施したアンケート結果（下記右欄参照）からも、ただちに給食費を無償化する必要に乏しいこと。
- 国立・都立・私立等に通う児童生徒が含まれていないことは給食費無償化で掲げる理念と一致せず、**公平性に欠ける**こと。また、不登校等の理由で学校に行けない子供・家庭への支援策が確立されていないこと。
- 公会計化(*5)への課題も先延ばしであること。

(*5)現在、杉並区の学校給食費は、杉並区ではなく学校（校長）が管理する「私費会計」となっている。

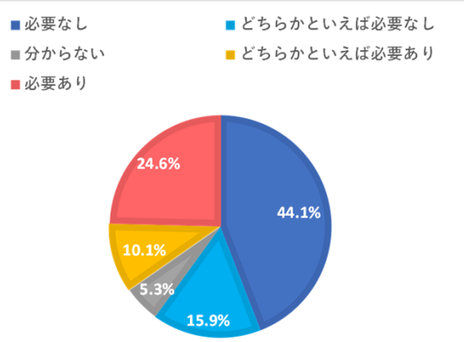
保護者アンケート結果（回答数：7，713世帯）

「教育施策で特に必要と思われるものを3つまでお答えください」



会派アンケート結果（回答数：666人）

「給食費無償化におけるメリット・デメリットを踏まえ、ただちに給食費を無償化する必要はあるとお考えですか」



誰しも、これまで有料だったものが無料になれば、嬉しいと思います。しかし、**杉並区の区民1人あたり基金（貯金）残高は、23区で最低**です（令和3年度決算比較）。そうした状況下で、拙速に「区立学校給食費無償化」を実施することに、私は賛成できません。

調査活動

政策懇談会

8月17日（木）、18日（金）、21日（月）、22日（火）、28日（月）と5日間かけ、会派として区内各種団体との政策懇談会を行いました。

全31団体と多数にのぼったため、かなりハードなスケジュールでしたが、各業界が現在抱えている課題等について、理解を深めることができました。

より良い杉並区を目指して、会派の一員としての活動もしっかり行っていきたいと思います。

富士見ヶ丘駅周辺まちづくり

8月30日（水）、杉並区主催の「富士見ヶ丘駅周辺まちづくりに関する意見交換会」に出席しました。

令和2年1月に富士見ヶ丘駅改札前広場で開催されたオープンハウスには、3日間で1，002名が来場しました。

既に区民意見聴取の段階ではなく、**「まちづくり方針」を策定する段階**だと考えております。

今後の進捗をチェックするとともに、方針策定後も、具体化に向けた取組を注視していきたいと思います。

＊これまでの取組は、右記QRコードから確認することができます。